



動物園からの手紙



419通目

環境の変化と伝える力



新年度がスタートして1か月ほど経ちました。この時期は職員の入れ替わりや休園期間中にやる事がたくさんあったりと、園全体がいつも慌ただしく落ち着かない感じです。でも、新鮮な気持ちをもたらしてくれるのもこの時期です。新たに迎えた職員も、徐々に職場環境に慣れて力を発揮してくれています。

休園期間中は、動物たちにとって、日中過ごす放飼場はいつもと変わりありませんが、その先に見えている景色が明らかに違ってしています。いつもいるはずの人がほとんどいなくなるからです。来園者の存在が動物のストレス要因になると言われたりしますが、そう単純な話ではありません。特に、旭山動物園の場合、動物の生き生きとした行動を引き出す仕掛けに来園者を「利用」させてもらっている施設が多くあるので、興味や関心の向き先となる来園者がいなくなって、動物たちは不思議な感覚になっている様子です。好奇心旺盛なアザラシは、たまに人を見かけると円柱水槽越しに熱心にこちらを注視してきます。アザラシに限らず、自分たちは観ている側だと思っていたら、実は動物から観察されているのが面白いところです。

話は変わりますが、今年度は高校生による「弁論」イベントを企画しています。園内の青空の下、動物や環境をテーマとして、自身のこれまでの経験や考えをスピーチしてもらう発表の場です。言葉の力を使って伝えようとする高校生の勇姿をご覧くださいので、ご期待ください。

旭山動物園は、「伝える」ことにこだわりを持った動物園です。動物の生態などを伝える手書き看板は、30年ほど前に予算がなくて始まったもので、それ以来、毎年リニューアルされた飼育職員の力作が園内に並びます。また、全国の動物園に先駆けて行うようになった動物の解説ガイド

でも、担当職員が自分の言葉で動物の特徴や魅力を伝えています。

「伝える」ことを通じて動物と来園者の架け橋となる取組みは、今後もしっかりと継承していくつもりです。



こちらを観察するユキヒョウ

旭山ピックアップ

Asahiya Zoo pickup

Pick Up!

旭山スイーZOOフェア2025開催



「美味しくサステナビリティ」をキャッチコピーに、学生が旭山動物園オリジナルのスイーツを考案し、園内の休憩所で販売します。



「食」の切り口から、動物や環境保全に興味や関心を持ってもらうイベントです。進捗状況はHPにて更新中！

動物園をもっと楽しむ

動物園では他にもイベントいろいろ！園内イベントの詳細は決まり次第、同園HPに掲載



夏期開園日・時間

- 10/15(水)まで = 9:30~17:15
- 10/16(木)~11/3(月) = 9:30~16:30

※期間中は無休。いずれも入園は16:00まで。



【詳細】旭山動物園
(東旭川町倉沼 電話36・1104)